

# 令和4年度島根支部事業実施状況

令和4年7月22日 令和4年度第1回評議会

# I .ヘルスマネジメント認定事業所 表彰式

## ● 令和4年度 ハルスマネジメント認定事業所表彰式の開催

### 【概要】

令和4年5月16日(月)に島根県庁舎講堂にて、ハルス・マネジメント認定制度において、健康経営に関する取り組みが顕著であると認められた、大畑建設株式会社様、高橋建設株式会社様の2社に対して島根県丸山達也知事と協会けんぽ島根支部石原貢支部長の連名で表彰を行いました。

### 【表彰式の様子】

当日は島根県松尾伸二副知事より表彰状の授与が行われました。



高橋建設株式会社  
代表取締役社長 高橋 宏聡様



大畑建設株式会社  
代表取締役社長 大畑 勉様



左から協会けんぽ島根支部 石原 貢支部長  
高橋建設株式会社 代表取締役社長 高橋 宏聡様  
島根県 松尾 伸二副知事  
大畑建設株式会社 代表取締役社長 大畑 勉様  
山陰中央新報社 ビジネスプロデュース局  
マーケティング部部长 岡崎 恭博様

### 【懇談会の様子】

当日は表彰式後に、受賞された2社と島根県松尾伸二副知事と懇談会を開催し、健康経営に関する取り組みについて活発な議論をしていただきました。



#### <松尾副知事コメント>

会社のトップの意識によって、環境は大きく変わります。特に2社が取り組まれている健康診断を受診した後の二次検診を受けようと思える環境づくりは大きく影響します。楽しい、明るい社会や地域づくりは「ひとづくり」から始まるのだと感じました。

受賞した2社の会社概要や健康づくりに向けた取り組みについての詳細は裏面参照。

### 【表彰対象事業所の審査方法】

- ・ 初回認定後3年目以降毎年取り組み状況を報告し、認定を更新する。
- ・ 「5年連続認定」かつ「5年目の認定における採点が表彰基準(90点以上)」をクリアした事業所

# ● 令和4年度 ヘルスマネジメント認定事業所表彰式の開催について

## 【健康経営に向けた取り組み】

### 【高橋建設株式会社】

#### 健康づくりの具体的な取り組み内容

- ・体を動かすことが少ない事務系職員に万歩計を配布し、健康管理の意識付けを行っている
- ・積極的な運動をしたい職員にはフィットネスジム費用を補助している
- ・特定保健指導を積極的に活用している
- ・健康飲料（スムージー）の社内販売を行っている

#### 健康経営に関する考え方（一部抜粋）

##### 健康経営の取り組みで大切にしていること

無理に勧めないことです。健康は自身が気を付けることが一番です。ただ、機会と環境は会社として用意し、健康経営に取り組む姿勢を社員に示すことが大切だと思います。産業医の協力もあり、経営の中で「健康第一」を取り入れています。健康診断の結果をフォローしたり、若年層で希望する人にはフィットネスクラブの費用補助も行っています。運動することが楽しいと感じている社員が15人ぐらい参加しています。会社としてできることをやっていこうと考えています。

##### 【会社概要】

事業所名：高橋建設 株式会社 所在地：益田市  
代表者名：代表取締役 高橋 宏聡  
業種：総合工事業 従業員数：106名

### 【大畑建設株式会社】

#### 健康づくりの具体的な取り組み内容

- ・健診後の特定保健指導の積極的な実施
- ・健診後の要再検査者の医療機関受診に向けた声掛けの実施
- ・部活動の推奨および補助等コミュニケーション促進
- ・社内掲示板を活用した被扶養者の健診受診の勧奨を実施

#### 健康経営に関する考え方（一部抜粋）

##### 健康経営を始めて感じた変化

有給休暇の取得は大幅に増えました。ヘルスマネジメントの認定を受けた年度から一人当たりの有給取得日数が10日を超え、そのあと毎年増加しており、昨年度は13.1日でした。従業員の変化に関しては、ヘルスマネジメントの認定を受けてからすでに5年経過しており、健康意識は向上しています。また、健康診断の結果が要再検査となった従業員の受診への意識も向上しています。

##### 【会社概要】

事業所名：大畑建設 株式会社 所在地：益田市  
代表者名：代表取締役 大畑 勉  
業種：総合工事業 従業員数：149名

## Ⅱ.協会における健康宣言事業の 基本モデルへの移行

## ● 協会における健康宣言事業の基本モデルへの移行

### 【概要】

協会における健康宣言事業は日本健康会議の目標(宣言事業所数)に対応すべく、全47支部で宣言事業所数を伸ばしてきましたが、支部ごとに宣言に至るプロセスが異なり必ずしも協会としての狙いに沿った仕様となっておりませんでした。そこで協会の狙いに沿った宣言事業の標準化(基本モデル)が示され、全47支部で基本モデルを取り入れることになりました。

基本モデルへの移行は、新規宣言事業所は、令和4年度中のできる限り早い時期に着手とされ、既宣言事業所は令和4年度末までに移行方法の検討を着手し、遅くとも令和8年度末までに移行が完了することとされました。

### 【協会における基本モデルとは】

健康宣言は事業所カルテで自社の課題を踏まえた上で、宣言を行うプロセスとする。

#### ① 事業所カルテ(※1)の提供(プロセスの標準化)

- ・ カルテはフォローアップ(事業所支援)の基本とする
- ・ カルテを活用した宣言内容とする(要宣言前に提供)
- ・ 宣言1年後にカルテ提供し、宣言内容の再検討をする

#### ② 宣言項目の設定(コンテンツの標準化)

- ・ 宣言項目は重点的かつ定量的なものとする
- ・ 健診率、指導率を宣言の必須とする
- ・ 提示する宣言項目(※2)から事業所の現状を踏まえて選定する選択項目を設定とする

(※1) データ数が少なく事業所カルテの提供ができない事業所に対しては、「健康度カルテ(業態別)」や「取組みチェックシート」を提供する

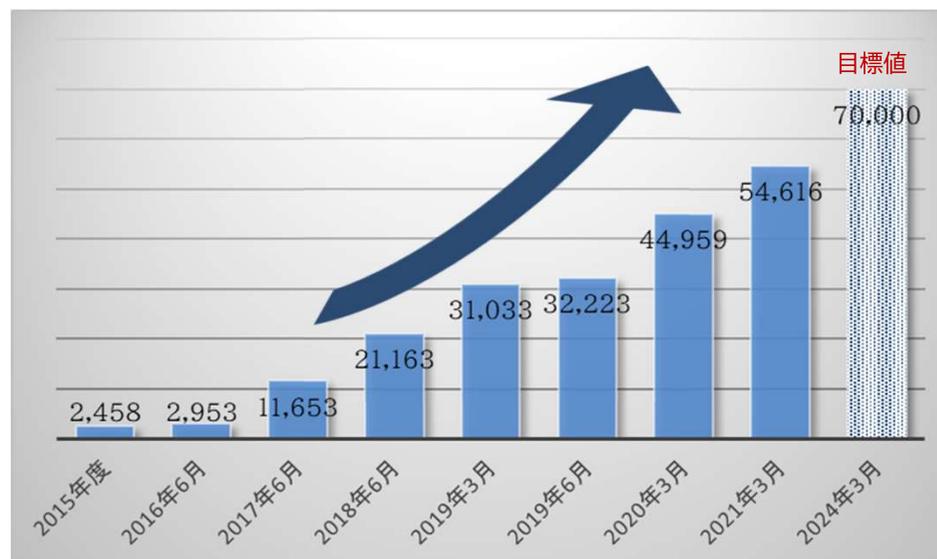
(※2) ①身体活動・運動 ②食生活・栄養 ③こころの健康づくり・休養 ④たばこ ⑤アルコールなど

### 【現島根支部の宣言のプロセス】

エントリーシートに4つの宣言項目(※)が印字されており、宣言項目のアレンジはできない仕様

(※)①健診・重症化防止②健康管理・安全衛生③喫煙対策④メンタル対策

図 協会けんぽ(全国)における健康宣言事業所の推移



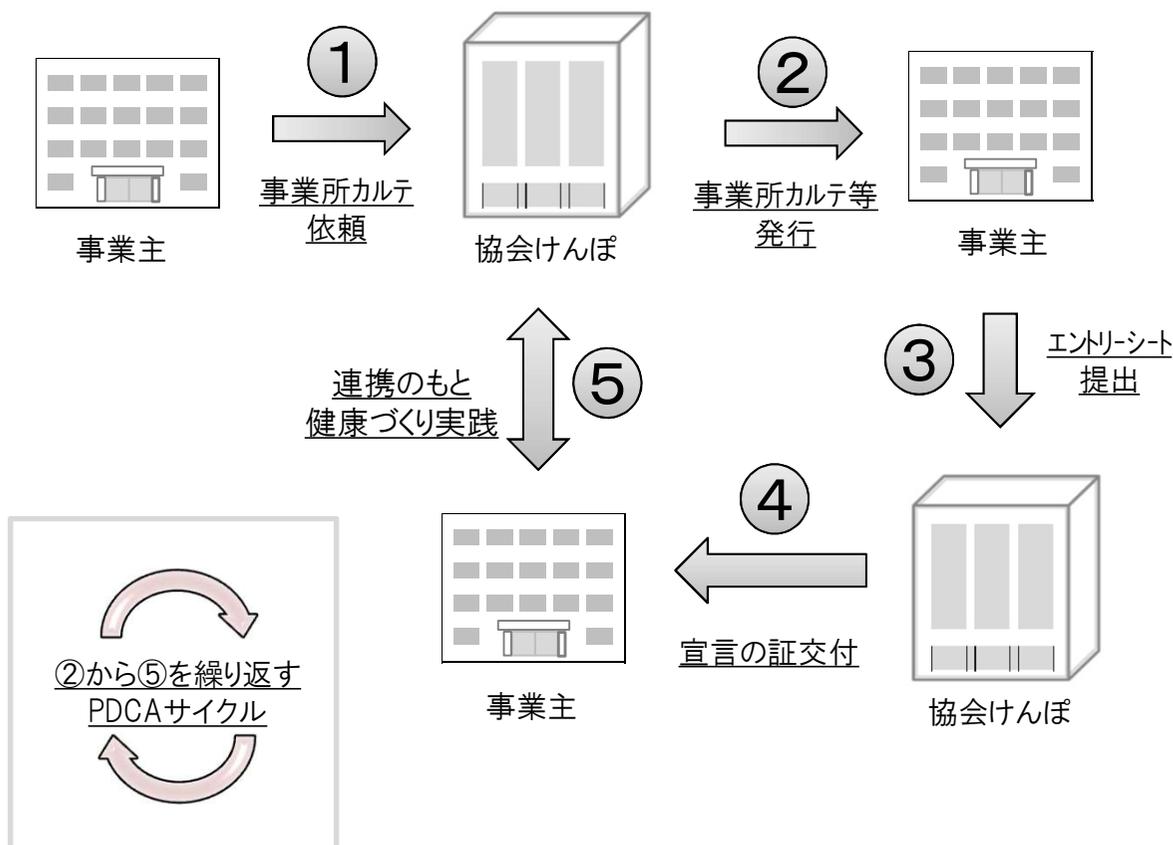
## ● 協会における健康宣言事業の基本モデルへの移行

### 【島根支部の対応】

健康宣言前に事業所カルテとチェックシートを配布し、自社の健康課題を踏まえた、健康づくりへの取り組みを宣言していただく方法に変更いたします。併せて、宣言事業所に毎年度提供している事業所カルテにより、必要に応じて宣言項目を見直しをしていただく取り扱いに変更いたします(PDCAサイクル導入)。

ただし、既宣言事業所の基本モデルへの移行にあたっては、各事業所で実施している現取り組みに変更が生じる可能性があり、一定の周知期間が必要であることに加え、約1,300社を超える事業所に対する事務処理を課題ととらえ、今年度中に実施手順を定め、令和5年度から開始することといたします。

### < 健康宣言事業のイメージ >



- ① 事業所カルテ依頼書を協会けんぽに提出する(事業主)
- ② 事業所カルテ、チェックシート、エントリーシートを事業主に送付する(協会)
- ③ 事業所カルテとチェックシートから、自社の健康課題の把握と取り組み内容を決定し、エントリーシートとチェックシートを協会けんぽに提出する(事業主)
- ④ 宣言内容を確認し健康宣言の証を交付するとともに、各種カルテの案内を行う(協会)
- ⑤ 協会けんぽと事業所が連携し、健康づくりの実践を行う(事業主、協会)

以降、1年ごとに②から⑤を繰り返すとともに、併せて、ヘルス・マネジメント制度認定を目指す

### 【移行スケジュール予定】

令和4年6月	基本モデルの関係機関への説明
8月	新規事業所における基本モデル開始
9月	既存事業所への基本モデル周知開始
令和5年1月	既存事業所移行方法を関係機関に説明
4月	既存事業所における移行開始



## Ⅲ.令和4年度

いきいきチャレンジウォーク

## ● 令和4年度 いきいきチャレンジウォーク

島根県下の保険者が中心となり平成28年度から毎年開催しているウォーキングイベント「いきいきチャレンジウォーク」は、島根県民の健康課題である「運動習慣の低さ」を向上させる（機運醸成）きっかけ作りとしています。昨年度は「コロナ禍における運動不足の解消」をテーマに、これまでの集合形式(1日)からWEBツールを使ったスタンプラリー形式(1か月間)で開催し、例年を大きく上回る参加者と参加者からの声も好評でした。

そのため昨年度の実施方法をベースとし、昨年度の参加者アンケートおよび運営委託先や関係団体から寄せられた意見を踏まえ、今年度の開催をしたいと考えています。

### 【昨年度の開催時の主な課題(意見)】

- ・参加者(アンケート)  
QR設置場所が分かりづらい、QRが読込づらい、  
毎回入力が煩わしいetc
- ・業務委託(山陰中央新報社)  
QR設置場所の運営管理に手間がかかる、設置場所不明の  
問合せ対応、パネル作成や広報にコストがかさむetc

### 【課題を踏まえた検討】

課題(意見)はもっぱらスタンプ(QR)方式に集約されます。  
スタンプラリーを前提とした場合「QR方式, GPS方式, クイズ方式, タグタッチ方式」の選択肢がありますが「GPS方式」であれば、概ね課題を解消することができます。

### ※ GPS(方式)スタンプラリー

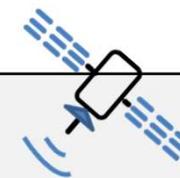
GPSの位置情報を認証してスタンプを獲得するスタンプラリー。スポットにQRコード、クイズ、タブを設置する必要がなく、スポットでボタンを押すと位置情報を認証し、位置情報が正しければスタンプが付与される仕組み。

### 【GPSスタンプラリーの流れ】



#### 1.まずはアクセス！

ブラウザでアクセスするだけで参加可能。面倒な会員登録も不要



#### 2.スポットへ行く！

地図アプリと連携したルート案内機能。初めての場所でも安心



#### 3.スタンプ獲得！

スポットにいたらGPSでスタンプを獲得



#### 4.特典に応募する！

指定された数のスタンプを集めたら特典の応募

# ● 令和4年度 いきいきチャレンジウォーク

## 【ウォーキングイベント仕様（案）】

実施方法	スマートフォンの位置情報を利用したスタンプラリー方式 (業者ツールを利用しスタンプラリーを作成)
開催時期	9月中旬から10月中旬 (1カ月間)
コース(案)	県内3地域 各2コース (3和と5和)
スポット数(案)	30カ所 (各コース5カ所程度)
スポット設置場所(案)	24時間出入りが可能な公共施設 (私有地であっても許可されれば設定可能)
参加方法	スマートフォンの位置情報(GPS設定)をON (Cookie情報によりスタンプ情報を保持)
参加費用	無料 (スマートフォンの通信料は参加者負担)
参加者見込み	1,000名~1,500名 (参加者の属性はCSVデータで記録)
参加対象者	島根県民 (ターゲットは運動習慣が少ない働き世代)
参加特典	一定数のスタンプ獲得で応募可能 (運営側で抽選と商品の発送を行う)
参加者アンケート	特典応募時にアンケートを配置 (CSVデータで記録)
ホームページ	特設サイトを開設 (開催エリアの観光情報やスポットの情報を発信)
広報	協会けんぽ (HP, 納入告知, メルマガ, 健保委員, 宣言事業所etc)、関係団体 における独自広報、山陰中央新報社etc
関係団体	・共催：国保連、健保連、山陰合同銀行健保、山陰自動車業健保 ・後援：島根県、開催都市、保険者協議会、山陰中央新報社

### 【コース・スポットについて】

複数カ所での開催とし、観光地のほか地元の方が普段立ち寄らない場所をコース・スポットに設定することができれば、参加者はウォーキングに留まらず、改めて地元を知る機会になるなど有意義で喜んでいただけるのではないかと思います。

そのため、県や開催地等の皆さまからの提案をいただき、コース・スポットを決定したいと考えています。

### 【参考：昨年度の実施】

参加者からいただいた感想 (266件) から抜粋

- ・コロナ禍でも楽しめるこんな健康的なイベントを増やして欲しい。
- ・お母さんといっぱいおしゃべりしながらたくさん歩いた。
- ・家族でいろいろな話をしながら歩けました。
- ・地元の歩いたことのない道を歩いて楽しかったです。
- ・今回のイベントがきっかけになりウォーキングが日常化してまいりました。
- ・スタンプラリー形式で目標をもって楽しくできました。
- ・これからもこうした企画で歩く動機付をお願いします。

### 2021年 広報チラシ

